

物流コスト削減で経営をバックアップ



取締役社長 岡田 啓司
リスクマネジメント協会：
CRM免許取得者

大手重工業、Cosmo80、トヨーカネット、外資IT(EXE)で情報システム技術者として活躍。物流機器制御システム開発と、大規模倉庫の設計やWMS設計導入多数。DHLでKPI推進GMに就任し、全国の事業所へKPI指導と改善・統合の実施と3PL案件の提案と環境整備。AZ Corporation Ltd 設立し、物流戦略コンサルタントとして現在に至る。

問い合わせ先：
042-703-3434

物流費の削減は企業にとって純利益になると言われるが、実際に何処をどの様にコスト削減したらいいか解らず困っている企業が多い。

「物流費コスト削減の障壁」

配送費: 合いみつでコストを下けているが、路線・宅配便以外の方法は、サービスレベルの低下が不安。また、配送費負担の少ない倉庫が解らない・・・等。

運賃費: 受注多発時の遅れが心配で、ためて出庫ができない。メーカー毎の棚保管だと新規入庫・棚卸が楽だが、頻度が高い物の出荷が遅くなる・・・等。

倉庫費: 都心の倉庫は賃料が高く、他の倉庫に移転した場合の費用、営業のクレームが心配・・・等。

上記の様な障壁が有る中、「改善をしたいが、経験が少なくリスクが有る。責任を持って改善に踏み切れない。」と言う担当部門の悩みがある。同社は、その対策として、業務の見える化を提案。見える化の業務ドキュメントは、業務シミュレータと成り、その実行で無駄が浮き彫りとなる。後は、改善箇所を業務ドキュメントの変更でシミュレーションすれば、事前に効果が検証可能。これで、リスク無しの改善PDCAが実現。同社には、物流コスト削減において、多数の倉庫レイアウトや生産性ライブラリーの蓄積により480以上の改善事例があることから、的確な改善が実現出来る。コスト削減の事なら頼りになる一社で、事例や、価格・見積り等の問合せはお気軽にとの事。また、Amazonや、Mスーパー等で実績のある「拠点最適化シミュレーションサービス」を提供中。データ作成は有料。

Az Corporation **エイジーコーポレーション(有)** info@azcorp.biz

岡田 啓司(おかだ たかし)

検索

www.azcorp.biz